

	<p>YP250ローダウンサスキット メッキバージョン 組付・取扱説明書</p>	<p>組付対象機種 YP250 Majesty (5GM/5SJ)</p>
--	--	---

はじめに

工数：2.1h

□お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。性能を十分発揮し、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

□販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要点 正しい取り扱い方法や、作業上のポイントを示してあります。



ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

注意

ローダウンサスペンション組み付け車使用上の注意

このサスペンションキットを組み付けると、車高がフロント、リアとも約40mm低くなります。ローダウン車の特性を充分ご理解の上使用してください。

走行時には特に次の点にご注意ください。

- 操縦フィーリングが標準車とは変化しますので、特性に充分慣れるまでは注意して運転してください。
- 最低地上高が下がっています。コーナリング時、段差乗り越え、路面の大きな凹凸などでは標準車に較べ車体が接地しやすくなる場合があります。
- 標準車に較べ乗り心地が固くなります。
- 振動に弱い機器（ナビゲーションなど）を装着すると作動不良を起こす可能性があります。
- このキットを組み付けた車両は、ヤマハ発動機(株)による車両本体の保証修理の対象外になることがあります。

キット組み付けの注意点

- このキットの組み付けには、充分な整備知識や経験、特殊工具を必要とします。トラブル、機械破損などの防止のため、販売店に組み付けを依頼してください。
- 作業は平坦な場所で行い、車体を確実に支えることが可能なスタンドを使用してください。

構成部品

補修用単品は下記品番にてご注文ください。

No.	品名	部品番号	5GM/5SJ	備考
①	フロントフォークAss'y (L)	Q5K-YSK-004-F12	1	
②	フロントフォークAss'y (R)	Q5K-YSK-004-F13	1	
③	リアサスペンション	Q5K-YSK-004-F14	2	
④	ショートサイドスタンド (5GM)	Q5K-YSK-004-H01	1	スプリングフック外側
⑤	ショートセンタースタンド	Q5K-YSK-004-H02	1	

取 付 方 法

フロントフォークAss'yなど、交換手順は左側フロントフォークのイラストで説明しています。右側フロントフォークについても同様の方法で取り付けてください。

§ 1. フロントフォークの交換

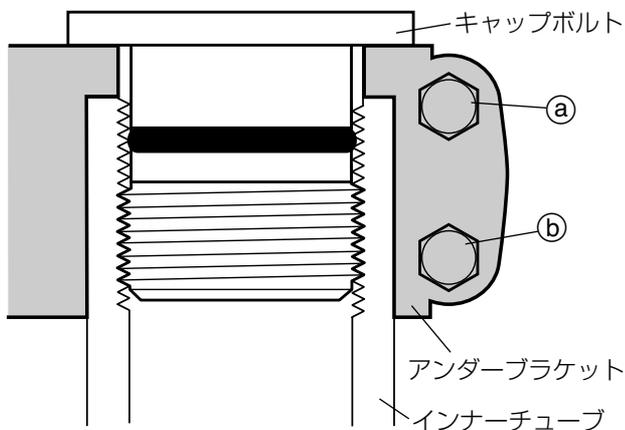
フロントホイール、カウリングボディ、フロントフェンダー、ブレーキキャリパーを取り外します。(第3章「カバー類の脱着」、第4章「フロントホイール、ブレーキディスク」を参照してください)

▲ 注意

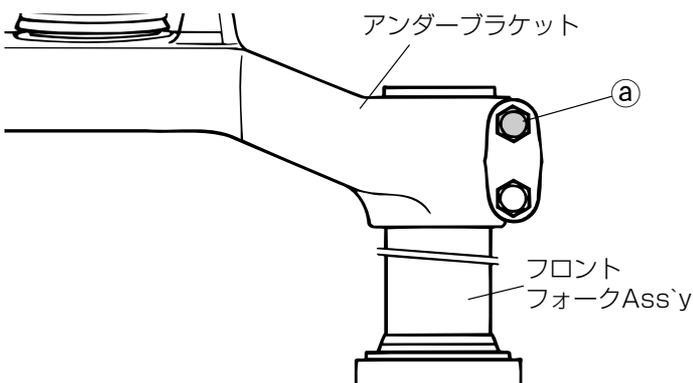
外したブレーキキャリパーは、ホースでぶら下げずに針金などを使用してステアなどに吊り下げてください。

要 点

フロントフォーク取り付け部分は下図のようになっています。アンダーブラケット部の取付ボルト①、②をゆるめても、キャップボルトを外さないとフロントフォークは抜けません。



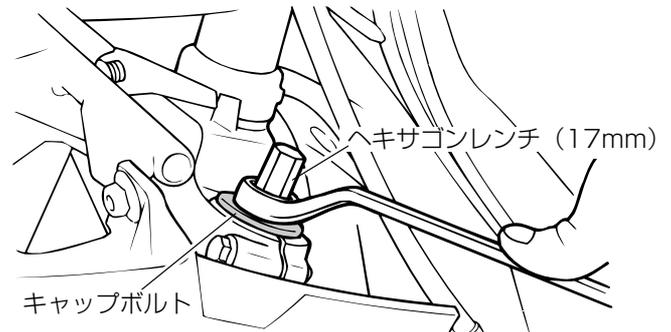
- ① アンダーブラケット部上側の取付ボルト①をゆるめま
す。



- ② キャップボルトを17mmのヘキサゴンレンチを使用して取り外します。

▲ 注意

スプリングの反力でキャップボルトが飛び出します。ウエ
スなどでくるんで取り外してください。



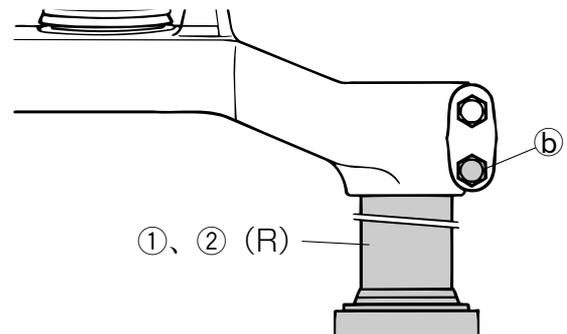
- ③ アンダーブラケット部下側の取付ボルト②をゆるめ、フ
ロントフォークを取り外します。

- ④ キットのフロントフォークAss'y①、②のキャップボル
トを取り外します。

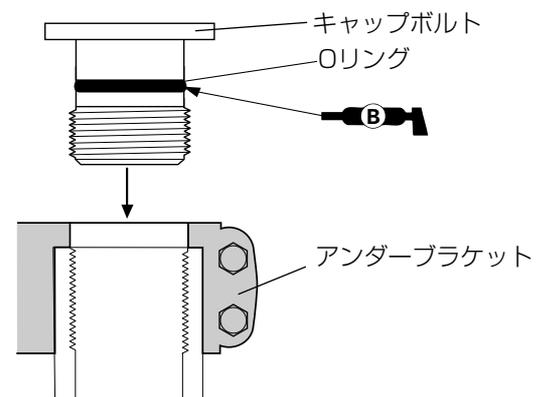
▲ 注意

フォークオイルをこぼさないようご注意ください。こぼし
た場合は、後に記載していますサービスデータを参照して
オイルを注入してください。

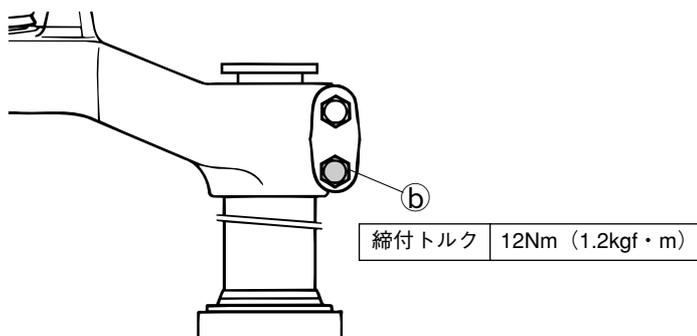
- ⑤ アンダーブラケットにキットのフロントフォーク
Ass'y①、②を差し込み、下側の取付ボルト②のみ仮締
めします。



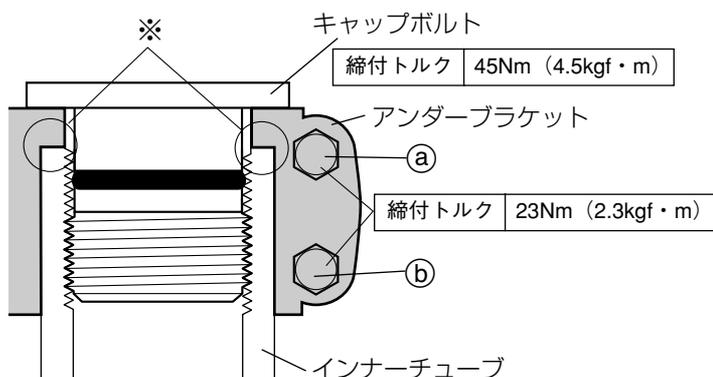
- ⑥ キットのキャップボルトを取り付けます。Oリングにヤ
マハグリースBを塗付して取り付けてください。



- 7 アンダーブラケット下部の取付ボルト⑥をいったんゆるめた後、下図に示すトルクで再度仮締めします。



- 8 キットのキャップボルトを下図に示す規定のトルクで締め付け、インナーチューブ上端とアンダーブラケットのストッパー(※)が当たるのを確認してください。



- 9 アンダーブラケットの取付ボルト①、②を上図に示す規定のトルクで締め付けます。

- 10 ブレーキキャリパー、フロントフェンダー、カウリングボディ、フロントホイールを組み付けます。(☞ 第3章「カバー類の脱着」、第4章「フロントホイール、ブレーキディスク」を参照してください)

警告

キャリパー取り付け後、必ずブレーキの効き具合の確認、レバーの遊びの点検および調整を行ってください。

§2.リアサスペンションの交換

(☞ 第4章「リヤクッション、リヤアーム」参照)
標準のリヤクッションをキットのリアサスペンション③と交換します。サービスマニュアルを参照し、標準のボルト、ワッシャーを使用して組み付けてください。

- 上部取付ボルト

締付トルク	40Nm (4.0kgf·m)
-------	-----------------

- 下部取付ボルト

締付トルク	20Nm (2.0kgf·m)
-------	-----------------

警告

リアサスペンション取り付け後、ゆるみやガタつきがないか取り付け状態を確認してください。

§3.サイドスタンドの交換

標準のサイドスタンドをキットのショートサイドスタンド④に交換します。摺動部にヤマハグリースBを塗付し、標準のボルト、ワッシャー類で取り付けます。

- 取付ボルトとフレーム

締付トルク	40Nm (4.0kgf·m)
-------	-----------------

- 取付ボルトとナット

締付トルク	40Nm (4.0kgf·m)
-------	-----------------

警告

サイドスタンド取り付け後、ゆるみやガタつきがないか、またサイドスタンドスイッチが正常に動作することを確認してください。

§4.センタースタンドの交換

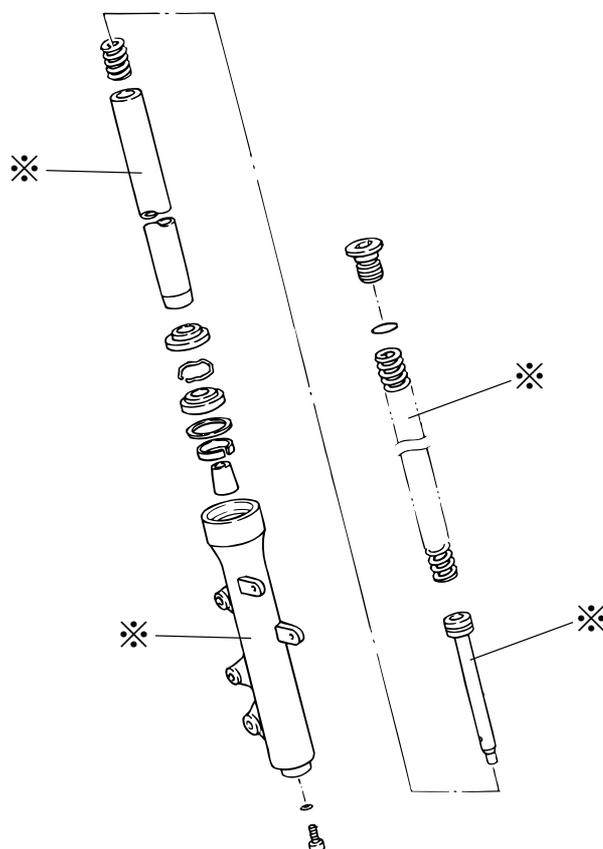
標準のセンタースタンドをキットのショートセンタースタンド⑤と交換します。摺動部にヤマハグリースBを塗付してください。

警告

センタースタンド取り付け後、ゆるみやガタつきがないか取り付け状態を確認してください。

補修用パーツについて

フロントフォークAss'yの※で示した部品については、単品での販売は取り扱っておりません。その他の部品は、ヤマハ純正部品をお買い求めください。

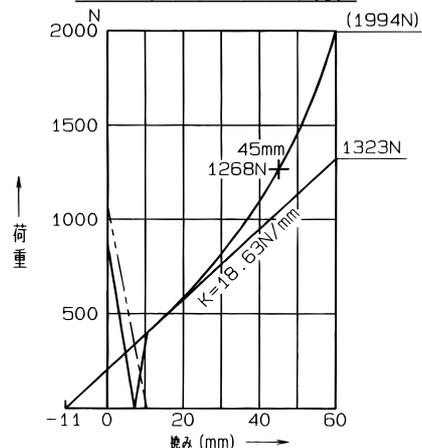


フロントフォーク Assy

フォークオイル：ヤマハサスペンションオイルG10
 油面：55mm（フォークオイル量147cc）
 ※フォークスプリングを外した状態の
 最圧時

（ フォークオイルの交換についてはサービスマニュアル 第4章フロントフォークを参照してください）

フロントフォーク バネ特性



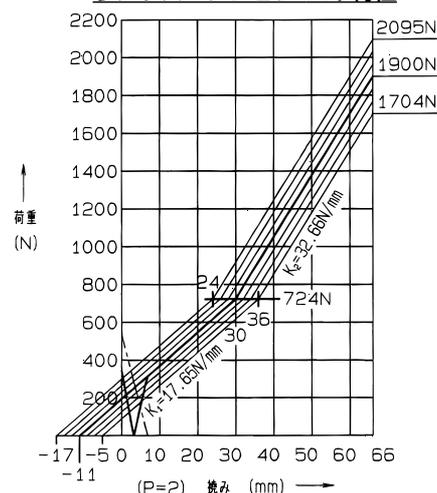
リアサスペンション

スプリング取付荷重：調整7段、出荷時4段

1名標準値：4段

調整範囲：1段（ソフト）～7段（ハード）

リアサスペンション バネ特性



リアサスペンションのセッティング

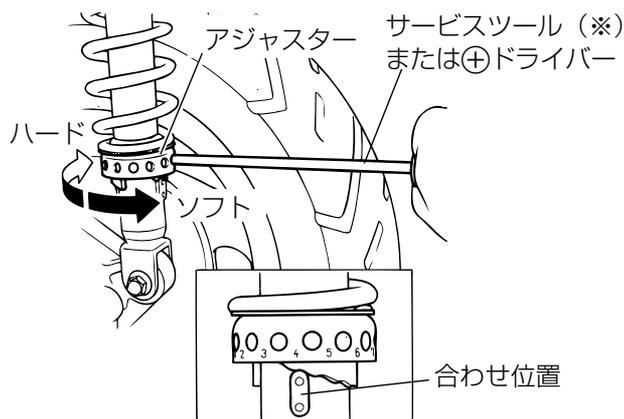
各自の好みや路面、走行状況に応じて調整ができます。リアサスペンションのセッティングには、スプリングの取付荷重の調整があります。

●スプリングの取付荷重の調整

アジャスターを回すと、スプリングの取付荷重を切り替えることができます。

⚠ 警告

アジャスターは左右同じ位置にしてください。異なると、操縦安定性に悪影響をおよぼします。



※一部車種では、サービスツールに含まれていません。

取扱方法

⚠ 注意

クロームメッキ製品のお手入れについて：

クロームメッキ製品は、そのまま放置しますとサビが発生する場合があります。表面のワックス分を切らないように、定期的にお手入れをしてください。